

中学3年生「高志学」5月研修 福井駅前フィールドワークを実施しました

5月14日（木）、中学3年生が、夏の「高志学」論文における各自のフィールドワークを見据え、福井駅前フィールドワークを実施しました。地域の課題に対して当事者意識を持ち、培ってきた探究スキルを実践に活かすことが目的です。

活動①:まちづくり福井×高志中「課題改善プラン」現地プレゼン

福井駅前周辺の活性化を考えるプロジェクトに挑みました。4月にまちづくり福井株式会社の松尾大輔社長からいただいた6つの課題（若者誘客、観光客の滞在、ハピテラスの有効活用など）に対し、生徒たちは事前研修で仮説や実証内容を考え、プランを練り上げてきました。当日は、各班が3か所を訪問し、自分たちのプランを直接プレゼンテーションしました。

【主な提案内容】

- 若者誘客（ヨリバ等）
SNSショート動画による認知度向上、学生向け新メニューや屋外ベンチの設置
- 観光客の滞在（駅周辺）
ご当地食の早食い・早剥き大会、屋上や大階段でのグルメ屋台展開
- スペースの有効活用（ハピテラス等）
巨大画面でのパブリックビューイング、プラネタリウムへのゲーム導入、遊具スペースの常設



プレゼンに加え、現地でのヒアリングや1日かけた駅前調査を通じ、机上では見えてこなかった多くの気づきを得ることができました。今後は現地でいただいたアドバイスをもとに、プランをブラッシュアップしていきます。最終プランは「まちづくり福井」様へお届けするほか、学校祭展示にて成果を発表する予定です。

活動②:駅前魅力発信冊子『AtoZ』制作に向けた現地取材

駅前の魅力を紹介する冊子『AtoZ』の制作に向けた取材活動も行いました。この『AtoZ』は、塩見直樹氏が提唱する手法で、地域の魅力をアルファベットのAからZまでの頭文字で集めて紹介する取り組みです。各班が担当するアルファベットから、生徒たちは「若者向け」「観光客向け」のターゲットに合わせ、自分たちで選定したスポットを訪問しました。写真撮影やインタビューを行い、今後は2種類のパンフレットとしてまとめしていく予定です。

ご協力いただきました駅前施設の皆様、まちづくり福井株式会社の皆様、貴重な学びの機会をいただき本当にありがとうございました。

